

くりやま ぎかいだより

No. 164

2020年(令和2年) 8月1日
発行/北海道栗山町議会



お花と一緒に、コロナに負けるな！

継立小学校の花壇整備 (2020.5.8)

第2回議会臨時会 2

第3回議会定例会 3

7人の議員が一般質問 6

議会報告会アンケート結果 14

臨時会

5月13日



「定例会」と「臨時会」の違いは？

「定例会」は、毎年定期的（定例的）に召集される議会で、召集する回数が条例で定められています。

「臨時会」は、必要がある場合に、あらかじめ示された事項を決めるために召集されます。

¥

補正予算

▼新型コロナウイルス感染症対策費
1752万8千円

【内訳】

子育て世帯臨時特別給付金給付事業
1424万円

感染症拡大防止用消耗品（マスク・消毒液等）
224万5千円

各小中学校臨時休校に伴う児童生徒宛て書類送付
40万円

指定管理施設閉鎖に伴う委託料精算金（減収となった利用料及び事業中止に伴い指定管理者が負担した経費の精算）
39万7千円

学校給食用食材発注中止に伴う違約金
24万6千円



緊急質問

齊藤議員 新型コロナウイルス

イルスが猛威を振るう中、本町は対策室を立ち上げ、給付制度を設けるなど、対策が迅速に行われている。

しかし、医療体制や対策が十分ではないと感じる。また、ハイヤー会社も営業日、時間を制限しており、急性期の医療機関の受診が難しくなる。さらに、インターネットの光回線がない地域や家庭は、通信手段の脆弱さに不自由を感じる。

脅威に対応するため、人材と予算が必要であり、特に大幅な令和2年度予算変更の必要性を感じる。このため、新型コロナウイルス対策の実施方針を示すと同時に、現時点で考えている政策、考え得る政策について町長の存念と見解を問いたい。

町長 1つ目の実施方針についてだが、今般の状況下において国にも都道府県にも、ましてや我々市町村にも確固たるものはなく、手探り状態で次々と浮上する諸課題に適宜対応しているというのが実態である。その対応方針について情報発信を行ってきたところであり、今後においても、これまで同様の対応を行いたいと考えている。

2つ目の政策についてだが、インターネットの光回線は今回のコロナ禍の中で、改めて大きな町政課題として浮き彫りになった。長期化が予想されるコロナウイルス対策として、また将来同様の事態が生じた場合の対策として、同一町内における情報格差、子どもたちの教育環境格差は解消していかなければならない課題であると認識をしている。クリアすべき課題は多くあるが、政策実



現に向け、さらなる検討を進めていきたい。この状況下を乗り切ることが最優先事項である。まずは本町から感染者を出さないということを念頭に、適宜適切な状況判断を行いながら、感染防止対策の徹底を図っていきたくと考えており、そのことが首長としての私の責務であると考えている。この状況下を乗り越えた先に町民の皆さんが将来への希望と安心、安全な暮らしを感じていただけるよう、今でき得る最大限の努力をしていきたいと思う。

緊急質問とは

「一般質問」は議員が町の一般事務や将来の方針などについて、町長や職員に直接聞くものですが、定例会の時に限られて実施が許されています。

しかし、緊急を要する事柄（災害や町行政に重大事態を生じるもの等）や客観的にやむを得ないと認められるときは、実施について議会の同意が得られたときに限り、臨時会でも「緊急質問」として実施することができます。



6月定例会

6月16日～19日

《補正予算一覧表》

単位：千円

議会名	議決 (議会で決定)		専決処分 (議会に代わって町長が決定)		合計	予算区分
	新型コロナウイルス感染症対策関連	その他	新型コロナウイルス感染症対策関連	その他		
第1回定例会 (3月)	2,129	29,495	0	1,040	32,664	令和元年度 (平成31年度)
第2回臨時会 (5月)	0	0	0	8,798	8,798	
	17,528	0	1,220,695 (定額給付金を除く 48,000)	0	1,222,447	令和2年度
第3回定例会 (6月)	292,836	△ 80,461	0	0	212,375	

※新型コロナウイルス感染症対策関連費用（対策開始～現在）15億3,318万8千円（定額給付金を除く3億6,049万3千円）

令和2年度予算

（当初予算）86億3,800万円＋（補正予算）14億5,059万8千円＝（現在の予算）100億8,859万8千円

¥

補正予算

栗山赤十字病院改築に向け、 整備方針策定委員会を設置

▼病院整備方針策定委員会
16万1千円

▼都市再生整備計画事業
に対する国庫補助金の内
示に伴う追加および減額
1億4060万円

条例

「栗山赤十字病院改築準備室」設置 町長直轄で推進体制を構築

▼栗山町課設置条例の一部を
部を改正する条例

「栗山赤十字病院の早期改築」を行うことと方針決定したことから、町長直轄の推進体制を構築するため総務課内に「栗山赤十字病院改築準備室」を設置。

▼栗山町税条例の一部を
改正する条例

軽量の葉巻たばこについて、一般的な紙巻たばこと同様の課税方式へと段階的に見直しを行う。その他、「新型コロナウイルス感染症緊急経済対策」における税制上の措置（税の減免や徴収の猶予など）が講じられる。

質

疑

齊藤議員 都市再生整備事業について、委託料と支障物件移転補償に係る補正予算の詳細は。

建設課長 国庫補助金の内示額が3億7000万円の62%しか来なかったことによるもの。

委託料は栄町、中央1線、中央15線の調査設計を見送り全額減。昨年実施できなかった栗山駅南交流拠点の実施設計を補正。

支障物件移転補償は中央4線と双葉通りの整備に係るもの。当初予算では基準に基づいて積算した費用を計上していたが、昨年行った詳細な調査において費用が増大したため、今回補正を行う金額となった。

新型コロナウイルス感染症対策関連

補正予算 2億9,283万6千円

「栗山町新型コロナウイルス感染症対策基金」設置

¥

補正予算

▼GIGAスクール構想に基づく「1人1台端末」の整備（836台）及び小中学校校内LAN整備

1億1257万7千円
▼感染症予防のため小中学校の教室・保健室にエアコンを整備

7500万円

▼町民有志が実施するクラウドファンディングに協力し収束後の消費喚起を図る 274万7千円
▼テイクアウト品のタクシーによる宅配に係る宅配料の一部支援（1回当たり700円）

35万4千円

▼医療機関等へ配布する消耗品等（マスク・消毒液等）の購入

828万6千円

▼指定避難所の感染症対策のため、備蓄用品（マスク・体温計・消毒液等）の購入

88万円

質

疑

千葉議員 校内LANの整備が1億円以上と高額だが、その内容は。

教育総括 GIGAス

クール構想の中の事業で、パソコンの整備も含め、工事・ネットワーク整備等委託内容は多岐にわたり、積み上げで総額1億円。国庫補助金を使いなから行う。契約については、議決後、文部科学省から補助金の交付決定を受け、入札を行い、事業展開を進めていく。



テイクアウトを始める店が増えている

鈴木議員 クラウドファンディングの分配は。

ブランド推進課長 目標

額200万円を分配する。町で返礼品を準備し、事業者の負担はないが、返礼品のお渡しや電子感謝券などの対応をしていただける店舗を登録し、その店舗数に応じて分配をする。登録店舗は現在60店舗ほどを想定。町としても、趣旨に賛同いただいて広く飲食店に参加いただきたい。今後、より魅力的な取り組みだと思えるようPRしながら目標到達したいと考えている。

三田議員 宅配タクシーの利用の流れは。

ブランド推進課長 影響

を受けたタクシー事業者と飲食店支援のため事業を行う。7月に試験運用し利用者ニーズや運葉面の課題を把握しながら、段階的に事業内容を磨き上げる。試験運用の間はテイクアウト情報サイト「kurigohan」の申し込みフォームと電話（ブランド推進課）で一度受け取りまとめを行い、各飲食店・栗山ハイヤーに発注する流れ。本格運用は8月からを予定。その際、利用者は各店舗に直接注文し、各店舗からハイヤー会社に配達依頼する流れを想定している。

利用者は弁当代のみの負担で、各店舗についても負担はない。あくまで、タクシー運行事業者に対して1回700円の支援をする。

質

条例

▼栗山町新型コロナウイルス感染症対策基金条例
篤志家等から支援を募りながら、この困難を乗り越えることを趣旨として基金を設置する。

質

疑

藤本議員 いずれは役目を終えるが、なぜ時限立法にしなかったのか。

まちづくり総括 篤志家

からの寄附もあり目的基金として明確に対応するため設置した。当然今年度限りで終わることもなく、今後も継続して対策を講じていかなければならないので、今時点での年度まで、ということでは想定していないが、設置した中で継続的に必要な対策を講じていきたいと考えている。
役目を終えた時には、廃止の提案をする。



その他の補正予算

北海道介護福祉学校
特別会計補正予算

▼新型コロナウイルス感染症対策及び「コロナ時代」に対応した学生の学修機会確保のための機材整備

授業録画用ビデオカメラ、学生貸与用タブレット端末など

250万円

▼学修環境に係る学生の経済負担支援

1人一律5万円を支給。さらに、親元を離れて町内で生活している学生については5万円を加算し計10万円を支給

250万円



意見書



解説

「意見書」とは？

地方公共団体の公益に関することについて、議会の意思を意見としてまとめた書類のこと。地方自治法第99条で「普通地方公共団体の議会は、当該普通地方公共団体の公益に関する事件につき意見書を国会又は関係行政庁に提出することができる。」と定められています。

今回、議会で決定された意見書は、北海道知事や内閣総理大臣等に宛てて提出されます。

林業・木材産業の成長産業化に向けた施策の充実・強化を求める意見書

【要旨】

森林の整備を進め、木材を積極的に利用していくことは、地方創生にも大きく貢献する。

人工林資源が本格的な利用期を迎える中、森林資源の循環利用による林業・木材産業の成長産業化に向けて施策の充実・強化を図ることが必要である。

よって、次の措置を講ずるよう強く要望する。

1. 森林整備事業及び治山事業の財源を十分・安定的に確保すること。
2. 間伐、植林、種苗生産等を着実に進めるため地方債の特例措置を継続すること。
3. 森林整備から木材の加工・流通、利用までの一体的な取り組み等、必要な支援措置を充実・強化すること。



人事案件

農業委員会委員の任命について

【農業委員会委員】

- | | |
|---------|-----|
| 長谷川 誠 氏 | 富士 |
| 寺 雅彦 氏 | 杵白 |
| 鳥村 正行 氏 | 雨煙別 |
| 塚本 政紀 氏 | 北学田 |
| 藤田 淳 氏 | 桜山 |
| 田村 俊彦 氏 | 旭台 |
| 吉田 寿栄 氏 | 阿野呂 |
| 中島 武博 氏 | 三日月 |
| 田村 賢治 氏 | 角田 |
| 長尾 卓也 氏 | 南学田 |
| 川崎 浩彦 氏 | 継立 |
| 小暮 滝弘 氏 | 御園 |
| 笹谷 和広 氏 | 南角田 |
| 鈴木 正志 氏 | 円山 |
| 大畠 政勝 氏 | 湯地 |
| 桂 一照 氏 | 富士 |
| 山本 強 氏 | 杵白 |

【任期】

令和2年7月20日～

令和5年7月19日



解説

行政委員会とは

政治的な中立性の確保や専門的な判断が必要な行政を行う合議制（複数人の人が集まって相談し、物事を決定する）の機関で、法律や条例により設置が定められています。



賛否の公表

※今回は、賛否が分かれた議案がなかったため、掲載を省略しています。一覧は議会ホームページに載せておりますので、ご覧ください。



第3回定例会
賛否の公表 QR



農業委員会は農地に関する事を執行する行政委員会

町政の ここが聞きたい

7 議員が一般質問



第3回定例会一般質問
録画配信 QR

千葉清己 議員

- ① J R北海道室蘭線の存続について考えは … P7

佐藤 功 議員

- ①受診ルート of 明確化等、今後の対策や支援は … P8

佐藤則男 議員

- ①「避難所運営マニュアル感染症対応版」の作成を … P9

鈴木千逸 議員

- ①オンライン授業の環境整備は … P10
②役場の物品購入について管理体制は … P10

齊藤義崇 議員

- ①コロナ禍に伴う規定予算変更や総合計画見直しの考えは … P11
②光回線について今後の整備は … P11

土井道子 議員

- ①図書館の更なるサービス展開を … P12

藤本光行 議員

- ①コロナ禍における予算組み替えの考えは … P13



JR問題

千葉清己 議員

Q：室蘭線の存続について考えは

A：関係期間と連携し取組み推進する

議員 JR北海道は平成28年11月に室蘭線（沼ノ端〜岩見沢）を含む13路線を単独では維持困難と発表した。

また、同時に経営改善計画を発表し、令和元年と2年を「第1期集中改革期間」とし、経営改善の取り組みを進めているが、新型コロナウイルスによる料金収入の急激な落ち込みは令和2年4月分で約40億円と経営に深刻なダメージを与えている。

その一方では国のJR北海道支援の前提である旧国鉄債務処理法は来年3月で期限を迎えるが、北海道知事は昨年の第4回定例道議会で「JR北海道に対する利用促進以外の地域負担は認められない。」と表明し、国の地元負担を求める考えと対立している。

栗山町は昨年、JR北海道に対し、130万円の支出を行い、沿線5市

町と「JR室蘭線活性化連絡協議会」を設置して連携を図っている。そこで、改めて、室蘭線の存続について栗山町としての考え方を問う。

町長 2017年南空知沿線の岩見沢市、由仁町、栗山町による首長懇談会を開催し、2019年には、胆振沿線苫小牧市、安平町を含めた2市3町による「JR室蘭線活性化連絡協議会」を設立し、事業展開をしてきた。

情報発信をはじめ乗車体験、写真コンテスト、地域密着型観光列車（モニターツアー）の運行など、利用促進、拡大に向けた取組を推進してきた。

一方、JR北海道の厳しい経営状況等を鑑み、昨年度から、2年間の措置として、利用促進に関連する設備投資に対して独自の臨時的支援を決定

したところである。先般、JR北海道の昨年度決算が公表され、鉄道運輸収入は、新型コロナウイルス感染症の影響で結果的に過去最大の赤字となった。室蘭本線

は、単に交通手段だけでなく、現在進めている栗山町の都市再生整備など、町の核をなす重要な社会資本である。地域の実情などを踏まえた支援制度の構築が不

可欠である。関係機関と連携を図り、路線存続・利用促進に向けた取組みを積極的に推進していきたいと考えている。



JR室蘭線はイベント時の重要な移動手段



佐藤功 議員

Q：受診ルート of 明確化を

A：「受診の日安」周知徹底を図る

議員 市民のいのちと暮らしを守るため、1人の感染者、1件の休業・廃業等を出さないという立場で質問する。



栗山町では2月末に新型コロナウイルス対策本部、5月1日に同対策室を設置し、市民からは積極的に情報提供等

栗山赤十字病院では発熱等の症状を申し出るよう案内している

どもたちへの学力の保障と心身のケアはどのような対策を考えているのか。

行ってきたことが評価されている。町内における新型コロナウイルスの影響について、生の声（情報）をどのように集約したのか、それらの情報を今後の対策にどう生かすのか、次の点を伺いたい。

町長 ①栗山赤十字病院では、受付において来院者への聞き取り又は検温により、発熱などの症状がある方は、救急外来窓口へ誘導し、一般の来院者との接触を避けることで、感染予防対策を行っている。厚生労働省が示す「新型コロナウイルス感染症の相談・受診の目安」である、風邪症状の継続や、倦怠感・呼吸困難がある場合などは「帰国者・接触者センター」に相談のうえ受診する。町としても「受診の目安」についての周知徹底を図りたい。

教育長 ③必要な時数を確保するため、土曜授業を活用した教科指導や、夏・冬の長期休業期間における登校日への振替を通して、学習の機会を保障していく。また、児童・生徒の実態に応じた学習環境を整備し学力の確保に取り組む。夏季休業中の登校は、午前授業での対応や登校時間を早めるなど健康管理には十分配慮しながら対応していく。併せて、スクールカウンセラーによる相談活動、また家庭訪問を行うなど、引き続き子どもたちの心のケアに努めていきたい。





災害対策

Q：感染症対応マニュアル作成を

A：早急に整備をしていく

佐藤則男 議員

町長 近年、全国的にも台風や地震などによる大規模な自然災害が多発している状況の中、「栗山町地域防災計画」に基づき、災害予防や応急対策に、各団体や、地域と連

議員 新型コロナウイルスの緊急事態宣言が解除になったが、感染拡大は未だに収まらず、これから本格的な出水期を迎える。
一昨年の西日本豪雨、北海道で起きた震度7の胆振東部地震と道内全域的停電、昨年は台風19号、そして、今年には全国各地で震度4クラス以上の地震が頻に発生している。また、新型コロナウイルスの感染拡大を受け、私達の生活様式も大きく変化していくことから、風水害や震災に備えて、「避難所運営マニュアル感染症対応版」の作成が必要と考えるが、町長の見解を伺う。

今般策定した「栗山町新型コロナウイルス感染症対策の基本的対処方針」においても、マスクや消毒液な

携・協力しながら災害対策の取り組みを進めていく。
今般の新型コロナウイルスの影響は、私たちの生活に大きな変化をもたらす、「新しい生活様式」を実践していかなければならない状況となっている。
いまだ効果的な治療や予防が確立されていない中、災害に対する備えも、感染症対策を含めた、新たな対応が必要であると考える。



今後は感染症対策を想定しなければならない

ど必要な物資の備蓄、避難所における十分なスペースの確保、発熱等の症状が出た人の専用スペースの確保など、災害時における取組を早急に

進めていくことにしている。

「北海道版避難所マニュアル」を参考に、「栗山町地域防災計画」の見直しと、「避難所運営マニュアル」を早急に整備

質問は要約されています

議会だよりではスペースの都合上、審議した議案や質問・答弁の内容を要約して載せています。

会議の内容は、会議録に詳細に記録されており、ご覧になりたい方は議会事務局までお問い合わせください。



鈴木千逸 議員

教育対策

Q：オンライン授業の環境整備は

A：本年度「1人1台端末」整備予定



議員 コロナ禍の休校措置により学校で学習する時間を失った子どもたちへの今後の教育対策について、先般示された本町の地方創生臨時交付金実施計画には、「小中学校及び北海道介護福祉学校のオンライン授業の実施に向けた環境整備を進めます。」とある。

そこで次の点について伺う。

- ① オンライン授業の実施に向けて、本年度の具体的な整備計画について。
- ② 小中学校におけるGIGAスクール構想の概要について。
- ③ 児童生徒の学習の遅れを挽回する独自の施策について。

町長 ① オンライン授業の整備計画『GIGAスクール構想』の加速に

今後は、より効果的なICTの活用が重要

よる学びの保障』として本年度、「1人1台端末」整備を予定している。また、ICTの有効活用を図るため、「ICT活用委員会」の設置を予定している。

② 昨年、「栗山町小中学校ICT環境整備計画」を策定したが「ICT機器を全ての児童生徒が使い、情報を活用する事を目指すこと」を基本に、より効果的なICT機器の活用方法の調査・検討、今後の計画的な整備、学校との情報共有を図りながら学校教育の情報化を進める。

③ 新型コロナウイルスによる授業の不足は100時間以上であるが、今後、土曜授業の活用、夏・冬休みの短縮、休み時間や放課後の学習指導等を行っていく。

物品購入

Q：管理体制は

A：規則に基づき

管理している

議員 本町の物品の購入について、過去5年分の実績を調査したところ、見積もりで単価の安い提案をした業者を選んで購入している物品と、それ以外の随意契約のものが混在していた。そこで次の点について伺う。

- ① 随意契約の購入実績を管理し、チェックする仕組みができているか。
- ② 管理し、チェックする仕組みがなされている場合、その購入内容実績を詳細に監査委員に報告する仕組みがあるか。
- ③ 物品購入に係る契約事務の規則の見直しは、適宜適切になされているか。

町長 ① 所管課で契約後に伝票の起票、購入後は出納室の審査を受けてから支出している。

② 10万円以上の備品のみ報告している。

③ 契約事務規則、会計規則とも必要な場合は見直しをしている。





齊藤義崇 議員

財政・計画

Q：既定予算変更や計画見直しは

A：変更や見直しは考えていない

町長 小中学校の臨時休校や公共施設の休館など、町民の皆様にもご協力いただき感染予防対策を進め、事業継続に向け

議員 新型コロナウイルスの世界的大流行によって様々な影響が出ている。今日のような事態への備えを恒常的に進めつつ、普段の予防対策として、新生活スタイルが推進されており、今後確実に定着させていくことが求められている。そして、この新生活スタイルの定着には、施設整備をはじめとして、多くの予算と労力を傾ける必要性を強く感じている。

そのため、今年度予算の執行計画の変更が急務であると同時に、新生活スタイルに配慮したまちづくりがされるよう都市再生整備計画や第6次総合計画を見直す必要があると考えるが、町長の考えを聞きたい。



令和4年までの計画が策定されている

た町独自の事業所資金繰り支援など、対策を講じてきた。

今後も緊急経済対策に基づき取組を進めることが重要である。これに係る予算対応は基本的に国の責務で、地域実情を考慮した部分や補助制度の隙間の部分を各自自治体に対応する事が基本と考える。

執行は、国の支援制度を最大限活用することを基本とし、規定予算を組み替えての対応は予定していない。

計画の見直しについては、都市再生整備計画は計画通り進める考えである。第6次総合計画については、事業を見直す考えは無いが、今後の執行状況により進行管理計画の中で整理を行う。

光回線

Q：今後の整備は

A：全町整備を進める

議員 本町における光回線の整備状況は、令和元年度現在で約95%（総務省調）である。整備されていない地区の多くは農村で、次いで公営住宅である。情報交換や情報共有、リアルタイムでの動画や画像を用いた情報交換は、医療、教育、福祉での活用場面も増えつつあり、高速通信回線は、新生活スタイルに欠かすことのできない基本的なインフラである。

未整備地区に対する行政の積極的な整備方針がなく、NTTが整備を実施するための政策的支援がなぜなされないのか、その理由と今後の展望について、町長の考えを聞きたい。

町長 6月定例会で補正予算を提案する小中学校のネットワーク環境の整備及び1人1台端末の整備と併せて一体的に光ファイバの整備を行い、町内全ての子どもたちへのオンライン教育の実現に向けて取り組み、コロナ時代における「新たな生活様式」に必要な情報通信基盤の整備を進めていく。



Q：更なるサービス展開を

A：調査・検討し、改善を図る

図書館



土井道子 議員

議員 今年2月、新型コロナウイルスの感染症拡大防止のため、栗山町図書館が急きよ休館したことは、図書館利用者にとって大変残念な出来事であったと想像できる。そんな中で、住民のためにリクエストの図書など10点を、利用者に宅配する企画をした図書館職員は本当にすばらしいと感謝と拍手を送りたい。

図書館設立から32年が経過し、さらにひろげた図書館サービスが展開できないか次の4点に対して、考えを伺いたい。

①伊藤正氏や栗谷川健一氏など、栗山町に関係のある芸術作品を町内外の人に知ってもらう機会として、図書館ホームページなどで紹介することはできないか。

②図書館に係る未公開の書籍を一般公開するために専門知識を有する人材を確保（雇用）することはできないか。

③障がい等により、図書館や移動図書館を利用できない町民に、宅配サービスを効果的に周知し、利用促進を図れないか。

④ブックリサイクル事業を改善し、より多くの書籍を町民に還元できないか。

教育長 ①伊藤正氏の絵画は、Ekiにて全74作品を所蔵し、例年10日間程度展示会を開催。栗谷川健一氏の作品は、図書館にて全10作品を所蔵しているが、近年は一般公開をしていない。今後は、所蔵リストを含め作品を公開する機会を増やし、図書館ホームページ等で紹介していきたい。

②現在、図書館システム登録をしていない書籍については、約3000冊ある。その種類も多岐にわたり、全ての書籍に精通し管理する人材を確保することは難しい。しかし、将来的には、資料の

データ化等の整備を図り、町民の皆様の要望に対応できる体制づくりについて検討したい。

③身体の障がい等により図書館を利用できない場合には、郵送による図書の貸し出しをすることができると。

これまで、ホームページなどで周知は進めてきたが、現在まで活用実績はななく今後は、先進事例も調査し利用促進に努めたい。

④図書館本館や角田、継立で実施している「ブックリサイクル市」は、毎年4回、開催している。例年4000冊程度の図書を町民に還元し、残った図書については、栗山赤十字病院や泉徳園などの施設図書として、町民還元を努めている。今後も改善を



感染症対策を行いながら、運営をしている



藤本光行 議員

予算対応

Q：予算組み替えの考えは

A：組み替えは行わない



議員 新型コロナウイルス感染症の流行は全世界に様々な影響を与え、感染症の脅威を再認識させるだけでなく我々の生活スタイルをも一変させようとしている。

本町においても感染者の発生はみえていないものの予断を許さない状況は続いており、そのような中で町民は様々な影響を受けながらも日々の生活を送っている。

町民の安全安心な暮らしの確保は行政の使命であるが本町が行う新型コロナウイルス感染症対策と対策に関わる予算について、以下の点について質問する。

新型コロナウイルス感染症の影響により、執行できない予算もある

町長 ①新型コロナウイルス感染症は世界でまん延し、経済活動が制限されるなど、影響は計り知れない。本町も2月26

①現時点における新型コロナウイルス感染症による本町への影響をどう認識しているか。
②各種対策を行う上での予算の考え方は。
③この流行を受けて令和2年度予算の組み替えは考えにないか。

日に対策本部を設置した。緊急事態措置に伴い、住民・経済活動の制限が行われたが、影響が大きい企業や事業者への雇用・事業継続を支援するため、経済対策を進めてきた。
②補正予算を計上し、本定例会でも、追加として、約2億9千万円の補正を提案している。今、新型コロナウイルス対策が最重要課題である。一日も早い回復のため、臨時交付金を活用し、対策を講じる。
③事業執行への影響を整理した。この中で、くりやま夏まつり実行委員会への補助金について、減額を提案している。執行残が生じるものは、財源振替を考えるが、予算の組み替えは行わない。

議会中継をご自宅で見ることができます

議会では、インターネットによるライブ中継（生中継）と録画配信をしています。栗山町議会ホームページもしくはYouTubeからご覧ください。

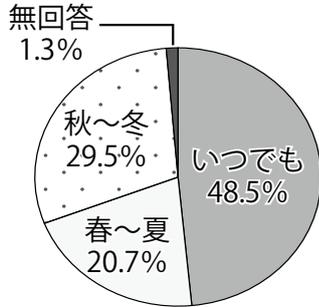
YouTube でも、**栗山町議会** **検索**



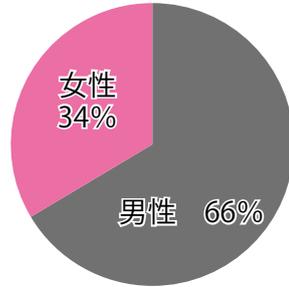
アンケートのご協力 ありがとうございました！

2月3日～11日に開催した、議会報告会へご参加いただきありがとうございました。
その際に回収させていただいた、アンケートの結果がまとまりましたので、報告します。

・「いつでも」が最多
・鳩山や南学田などでは「秋～冬」が多かった
・南部公民館などでは「春～夏」が多かった



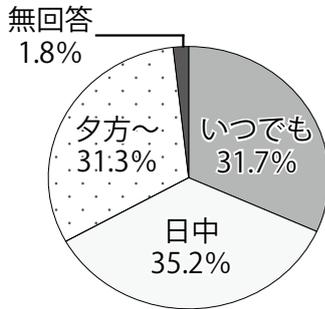
1 開催時期



項目	男性	女性	合計
参加者数	188人	95人	283人
回収枚数	227枚	28枚	255枚
回収率	2%	80%	

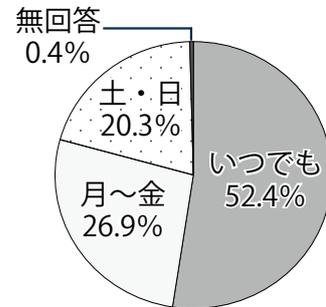
参加者

・「日中」が最多
・今回午後6時30分開催の南部公民館や角田改善センターなどでは「夕方」が多かった



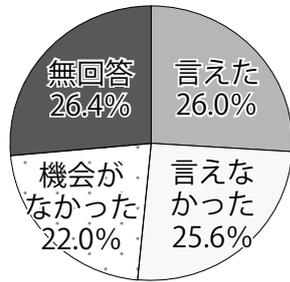
3 開催時刻

・「いつでも」が最多
・南部公民館などでは「月～金」が多かった



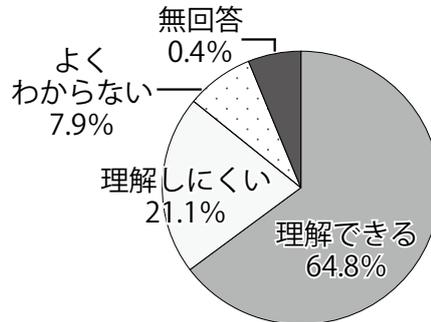
2 開催日

・「言えた」は26%にとどまった
・約半数が「言えなかった」「機会がなかった」と回答



5 あなたの意見

・ほとんどのの方が「理解できる」と回答



4 説明や資料



・「どこからでもどうぞ」といわれて発言しづらかった。
・各課題ごとに質問を聞いてほしい。

6 主な要望

・勇気がなくて声を上げられない人に、意見などを言える機会が欲しい。
・ただ資料を読むだけでなく、かみくだいて説明してもらった方が質問をしやすい。
・開催はあたたかい時期の方が人の集まりが良いのでは？

分析結果

- ▼開催日程・時間
地域によって、都合の良い時期や時間が異なるため、今後も地域の実情に応じて日程を決める。
- ▼資料作成
資料自体の分かりやすさだけではなく、説明仕方や声の大きさなどに配慮するよう改善する。
- ▼発言
発言しづらかったという声が多数あった。今後は、発言しやすい雰囲気づくりや運営面の工夫が必要である。

くりやま議会だより No.161 が 第40回北海道町村議会広報コンクールで

入 選



上段左から：事務局樋口主事、齊藤委員、鈴木委員、千葉委員
下段左から：佐藤則男委員、土井委員長、佐藤功副委員長

「くりやま議会だより No.161」が第40回北海道町村議会議長会広報コンクールで入選しました。（特選：別海町、入選：倶知安町、和寒町、栗山町）栗山町が入選するのは、平成28年以来、約4年ぶりです。

今回入選できたのも、いつも議会だよりをご愛読いただき、ときに厳しく、ご意見をいただく議会モニターの皆さま、町民の皆さまの声があったからです。今後とも、読みやすい・読みたくなる、議会だよりの作成を心がけていきたいと思っております！

出前報告会を実施します！

広報広聴常任委員会では、より多くの方と意見交換を行うため、出前報告会を実施しています。今年度は下記のとおり実施しますので、お気軽にお申し込みください！



【期 間】

10月1日～翌年3月31日
午前9時～午後9時の間1時間～2時間程度

【会 場】

会場は申し込み者様で手配願います

【内 容】

議会や議員活動に関連する内容とします

【議 員】

出席は3～4人の班で対応させていただきます

【申し込み方法】

希望する日時、場所、内容、人数、団体の方は団体名を下記宛先までお知らせください。

●宛先● 栗山町議会事務局（栗山町役場内）

〒069-1512 北海道夕張郡栗山町松風3丁目252番地

TEL：0123-73-7517 / FAX：0123-72-1233

Eメール：gikai-jimukyoku@town.kuriyama.hokkaido.jp

※電話での問い合わせは平日8時30分～17時15分まで

ひとこと

9月定例会の開会日

9月8日～

議会の予定

- 9月 4日(金) 議会運営委員会
9月 8日(火) 第5回議会定例会
9月 14日(月) 決算審査特別委員会
※全て9時30分開会予定です

議会の予定は変更になる場合があります。議会事務局または議会ホームページでご確認ください。



議会に行こう！

傍聴は議会活動に触れる最も身近な方法です。皆さんの選んだ議員の活動や町政の方針などを、ぜひご覧ください。
会議当日の受付で傍聴できますので、役場旧庁舎3階の傍聴席入口までお越しください。

くりやまぎかいだよりNo.164
2020年(令和2年)8月1日発行
発行/北海道栗山町議会
編集/広報広聴常任委員会
〒069-1512
北海道夕張郡栗山町松風3丁目252
Tel 0123-73-7517/Fax 0123-72-1233
<http://www.town.kuriyama.hokkaido.jp/gikai/>
E-mail/gikai-jimukyoku@town.kuriyama.hokkaido.jp
印刷/山東印刷株式会社



間伐で未来につなぐ北の森

「栗山町民にこそ、 美味しい野菜を食べてほしい！」

いざわ あやか
井澤 綾華さん(阿野呂)



私は5年前に栗山町で地域おこし協力隊員として働き始めました。現在は阿野呂で農業を営む夫と結婚し、3歳と1歳の子どもに恵まれ料理研究家や野菜の収穫・加工など、多忙ながら日々充実した時間を過ごしています。

昨年の7～11月の第一日曜日に、栗夢プラザで朝市「栗山ファーマーズマルシェ」を主宰しました。

「農家の野菜を直接買える機会が少ない。栗山には素晴らしい生産者と美味しい野菜があるのにもったいない！」

という思いから出た企画です。

やるとなると心配事がつぎつぎと出てきます。

町の人たちは買いに来てくれるかな。その日は晴れるかな。野菜が余ったらどうしよう！娘が誕生して数カ月、この娘の世話はどうしよう！

でも、ふたを開けてみると、商店街の方からのバックアップ、農家の有志たちの参加、毎回楽しみに野菜を買い求めるお客さんたちの笑顔に励まされ、大盛況で終わることが出来ました。

これからも地元で愛される野菜を作り、認められる生産者を目指したい！という意欲がどんどん湧いてきました。

参加した農家の人たちで意見交換をすると「次はこんなことに取り組もう」と前向きな意見が多く出て今後はとても楽しみです。

令和2年は、新型コロナウイルス感染症の影響で、余儀なく軌道修正になります。8月は、町や農協とタッグを組み青空市場を開催予定です。栗山の特産品を提供し、このマルシェが生産者と町民の交流の場になれるよう、これからも頑張ります。

表紙の一枚！



マスクをしながらの作業は

熱中症に注意して

撮影 齊藤義崇
(場所…継立小学校)



広報広聴常任委員会(広報小委員会)

委員長/土井道子 副委員長/佐藤 功
委員/佐藤則男 千葉清己 齊藤義崇 鈴木千逸

ホームページQR



くわしい情報は栗山町議会ホームページへ！

栗山町議会 検索